

議員提出第12号

オスプレイの横田基地配備の撤回を求める意見書

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記意見書を別紙のとおり提出する。

平成30年9月21日

提出者 吉川市議会議員 雪田 きよみ

賛成者 吉川市議会議員 遠藤 義法

〃 小林 昭子

吉川市議会議長 中 嶋 通 治 様

提 案 理 由 口 頭

オスプレイの横田基地配備の撤回を求める意見書

防衛省は8月22日、米空軍の特殊作戦機C V22 オスプレイ 5機が10月1日、米空軍横田基地に正式配備されると発表しました。本土でのオスプレイ配備は初めてであり、2024年頃までにはさらに5機が配備される予定です。

既に正式配備前の4月3日には横田基地に飛来し、8月21日までの4ヶ月余で離着陸回数は305回に達し、連日訓練飛行を繰り返しています。6月には同基地に一時飛来後離陸した5機のうち1機がエンジン故障で奄美空港に緊急着陸しました。7月2日には米軍所沢通信基地と新座市の大和田通信基地に着陸し、これに対し、埼玉県や県内の自衛隊基地の所在自治体などをつくる県基地対策協議会（会長・上田清司知事）は3日、事前説明がなかったことに抗議し、離着陸の目的や今後の県内への飛来の可能性について説明を求める要望書を小野寺五典防衛相と防衛省北関東防衛局に提出しました。

オスプレイは、一昨年12月の沖縄県名護市沖での墜落事故の記憶も新しく、最近でも昨年8月にオーストラリアで3人が死亡した墜落事故、9月にはシリアで墜落し、機体が大破する事故を起こすなど重大事故が相次いでいます。開発段階から度々事故を起こしている欠陥機です。

しかも海兵隊のMV22に対しC V22は、敵地に潜入し人質を奪還する任務などを担う特殊作戦機であり、このため夜間飛行や低空飛行など過酷な訓練を行なうため、危険はより一層高まります。

既に離着陸を繰り返す横田基地のオスプレイは度々埼玉県にも飛来し、上空の通過も確認されています。住民の安全を考え、国はオスプレイの横田基地配備を撤回するよう在日米軍に強く要請することを求めます

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月21日

埼玉県吉川市議会

提出先

内閣総理大臣

防衛大臣

外務大臣